

Jミルクが2023年7月28日に公表した「需給見通し(※2023年6月迄実績)」の予測値と実績(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「8月の牛乳類の販売個数は前年比▲5.2%~今後も販売単価と購買動向には注視が必要~」

・7月の生乳需給実績は、飲用等向は前年比▲3.3%となったものの、生乳生産量は北海道、都府県ともに引き続き前年を下回り、全国では▲4.5%と飲用等向よりも減少幅が大きく、乳製品向は前年を下回る▲5.9%となった。全国指定団体受託乳量(速報)では8月中旬で前年比▲4.5%の結果となったが、北海道では記録的な猛暑が影響し、8月下旬で前年比89.7%と胆振東部地震発生時を除くと過去20年で最大の減少率となった。9月上旬には暑さが和らぎ、地域によってはやや回復しているとの報告がある。

・乳製品向仕向量の減少から脱脂粉乳とバター生産量は前年を下回った。バターはこれまで堅調であった需要が前年を下回ったものの、生産量の落ち込みが大きく、在庫量は前月よりやや減少した。一方、脱脂粉乳は全国協調の在庫削減対策を除く実需は低調に推移しているものの、対策分が出回り量を一定程度持ち上げたことや生産量の減少が加わり、在庫量は前月よりも▲2千ト程度となった。脱脂粉乳は、単年度ギャップが製品ベースで40千ト程度と試算されており、2023年度も在庫解消対策継続による消化が必要な状況となっている。

・8/28週の牛乳類の販売動向は、前週(8/21週)と比較して増加した。8月から価格改定が進んでいるものの、牛乳、加工乳、乳飲料は現時点で今年度最大の販売個数となった。地域によっては前年を超える水準となっているが、前週から2週に渡り高温が続いたことや小売・流通における価格激変緩和のための販売促進の影響が考えられる。また、牛乳類の中で乳飲料や業態別のドラッグストアチェーンが好調に推移していることを踏まえると、価格に優位性があるアイテム・業態に一定程度シフトしていると推察される。価格改定から1か月程度経過し、牛乳類の家庭内需要は想定よりも維持していると見受けられるが、気象庁の1ヶ月予報では今後も暑い日が続く見通しもあり、9月以降の販売単価・購買動向には引き続き注視する必要がある。

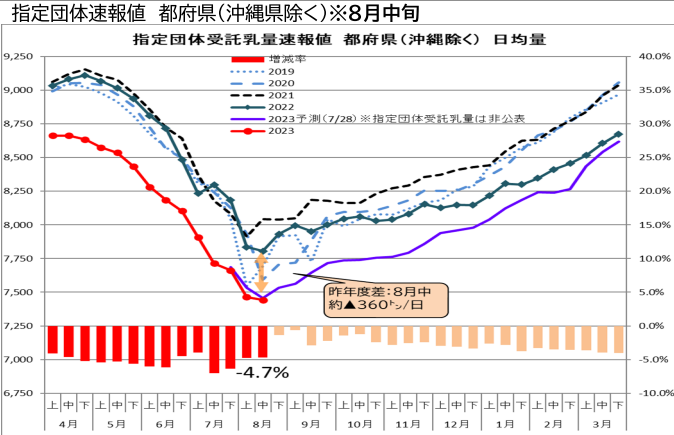
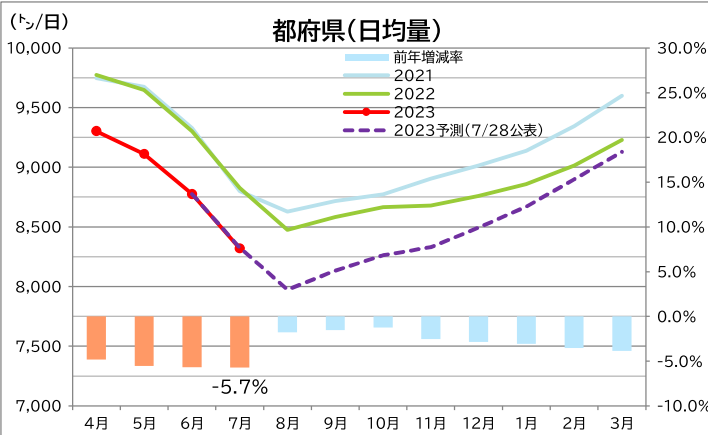
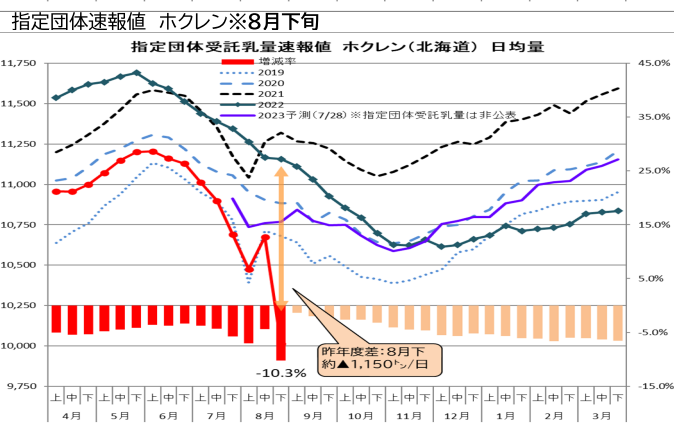
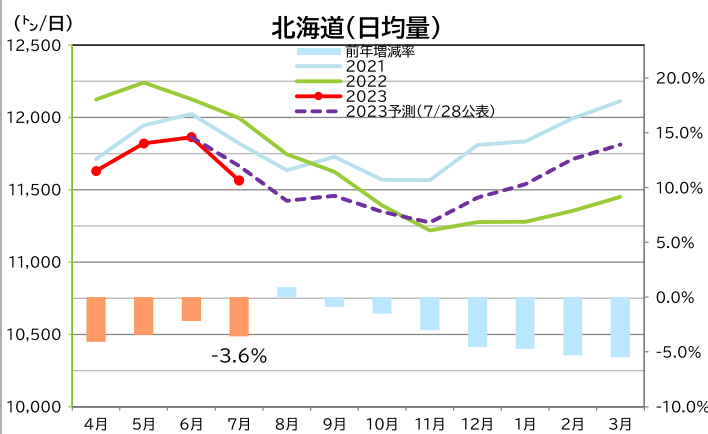
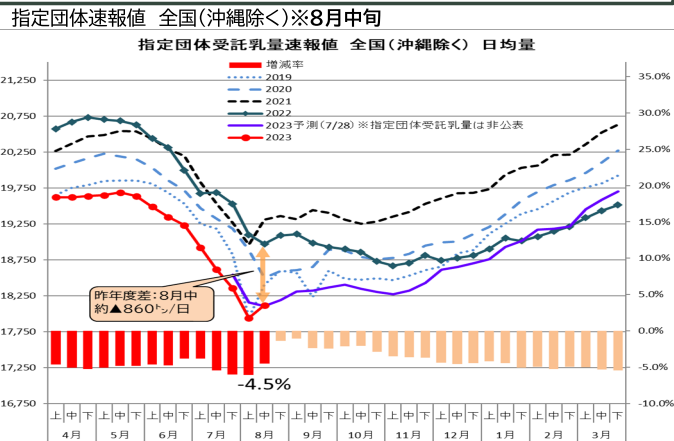
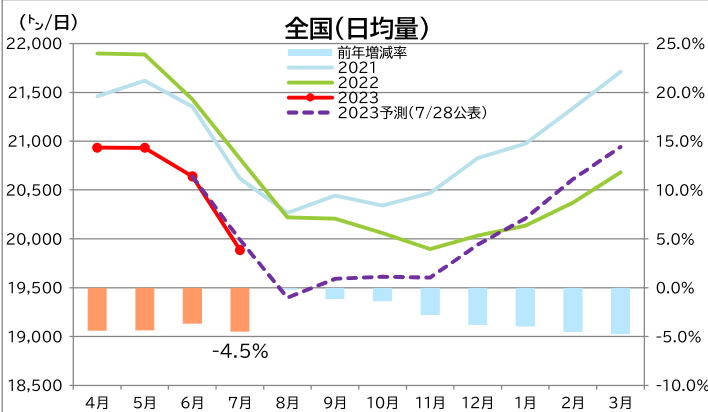
・帝国データバンクの調査によると、9月の食品値上げは約2000品目となり、相次ぐ値上げにより消費者の購買力の低下も影響し、1人当たりの購買個数が減少している。また、ガソリンは過去最高値となり、為替の円安が続く中では、生活防衛の動きは一層強まる懸念がある。家庭用を中心とした飲用需要は引き続き前年を下回って低調に推移すると考えられるが、消費喚起を図るべく業界全体で継続的に需要拡大と理解醸成を実施し、市場の活性化に取り組むことが求められる。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)7月の生乳生産量は、全国616.5千ト(前年同月比95.5%)、北海道358.5千ト(同96.4%)、都府県257.9千ト(同94.3%)。

(2)Jミルク予測値(全国619.8千ト、北海道361.6千ト、都府県258.1千ト)との比較は、北海道は下振れ、都府県は横ばいとなり、全国では下振れとなった。

(3)直近の指定団体速報値は全国が8月中旬で同95.5%、都府県(沖縄除く)が同95.3%、北海道は8月下旬で89.7%となった。

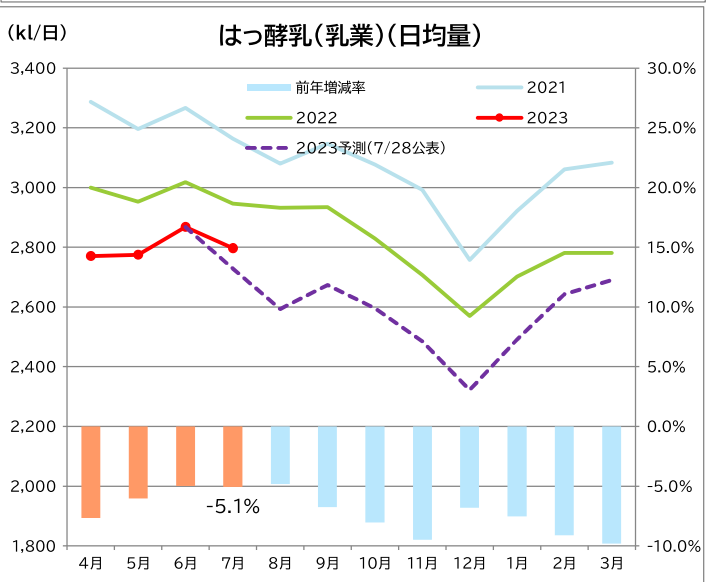
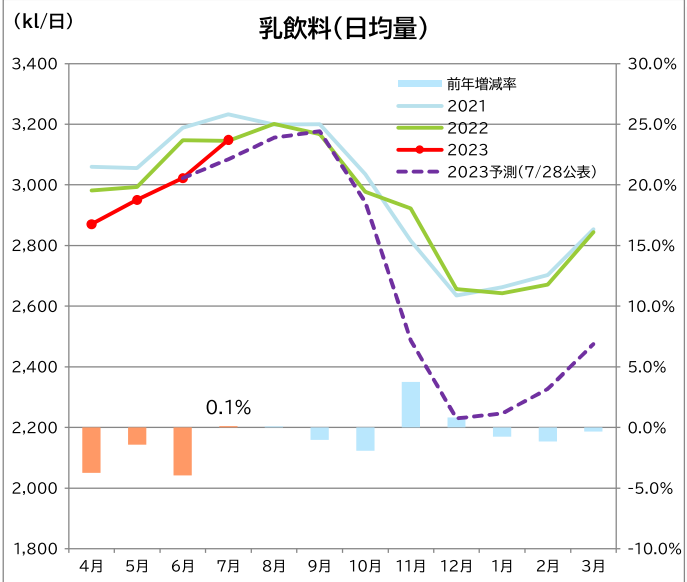
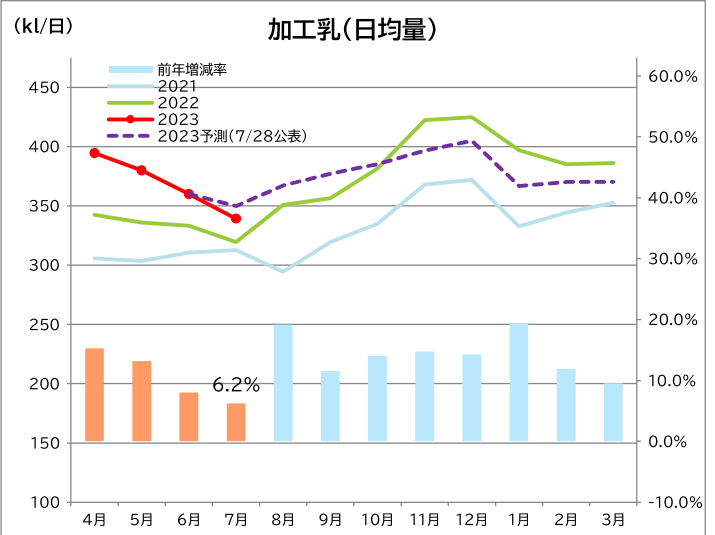
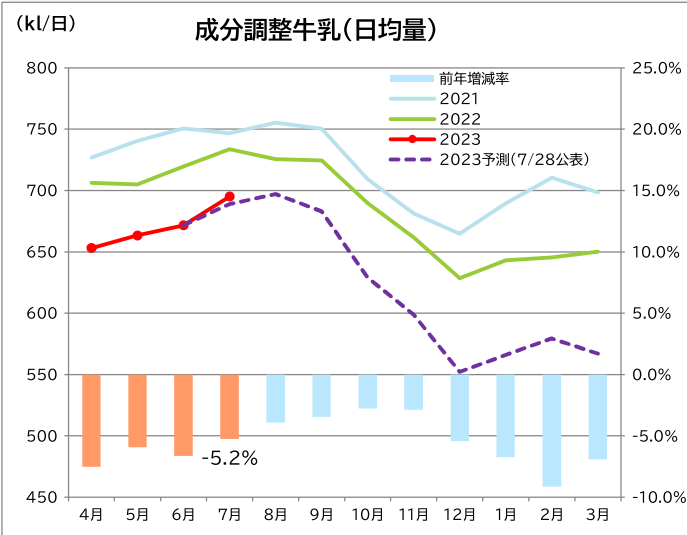
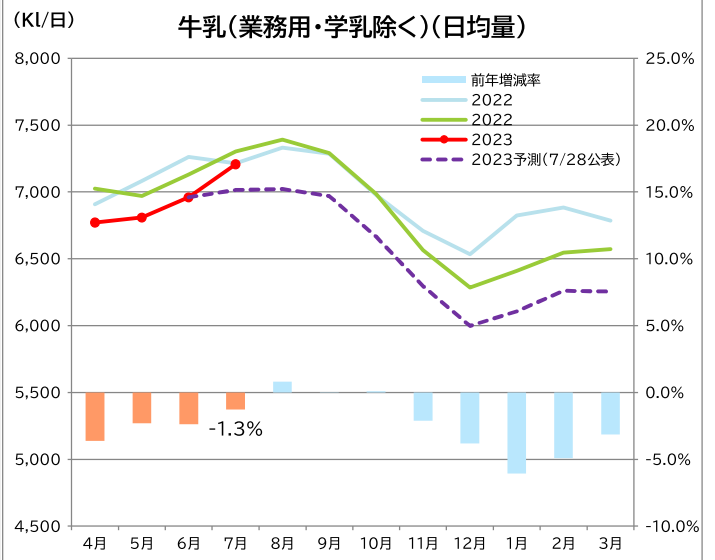
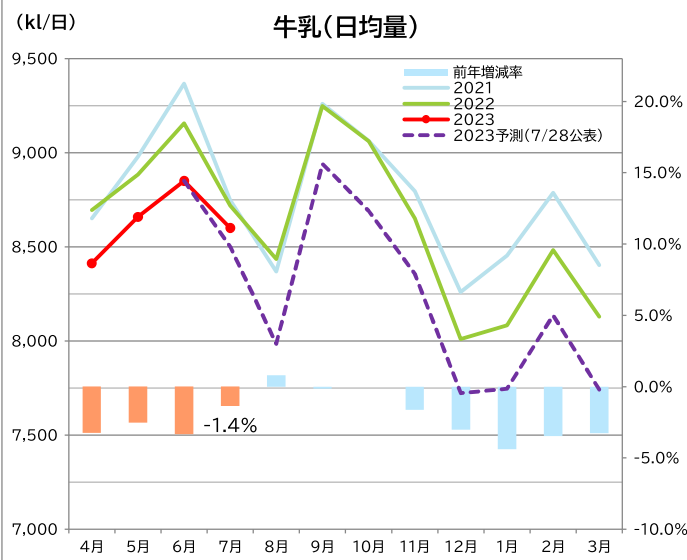


【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)7月の牛乳等生産量は、牛乳266.6千kl(前年同月比98.6%)、成分調整牛乳21.5千kl(同94.8%)、加工乳10.5千kl(同106.2%)、乳飲料97.6千kl(同100.1%)となり、牛乳類合計では396.3千kl(同99.0%)となった。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同98.7%、「業務用」は同95.5%、「学乳」は101.0%。

(3)はっ酵乳(乳業)は86.7千kl(同94.9%)と前年を大きく下回って推移している。

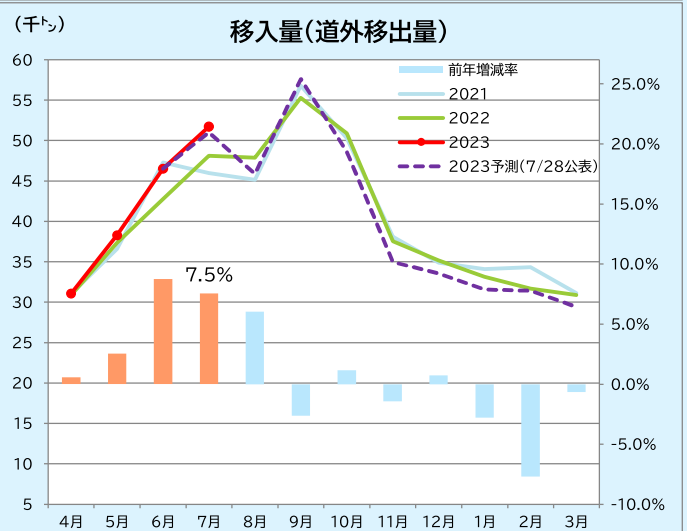
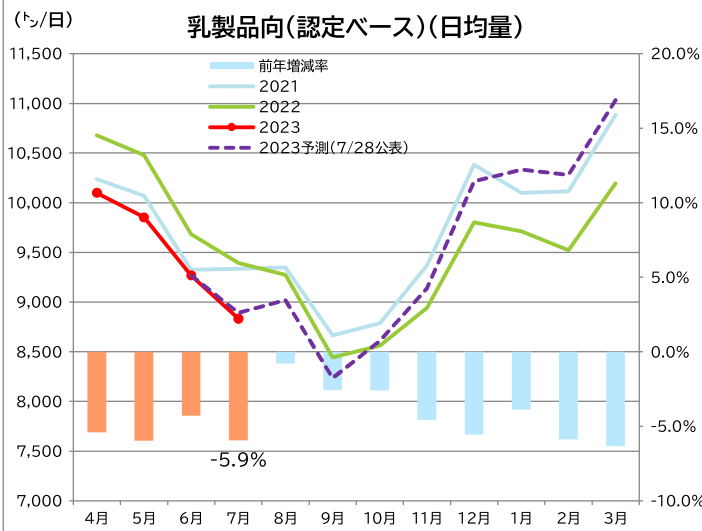
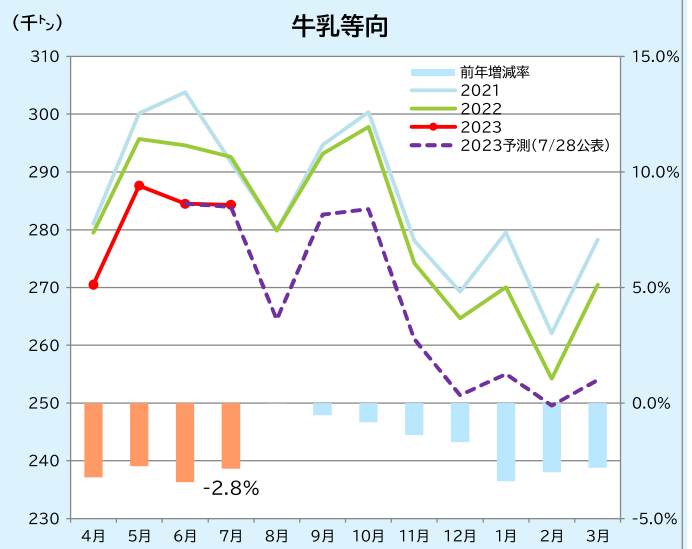
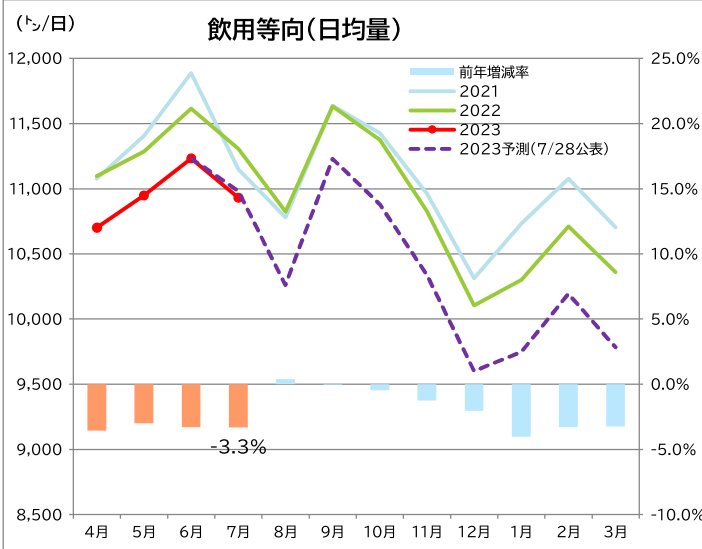
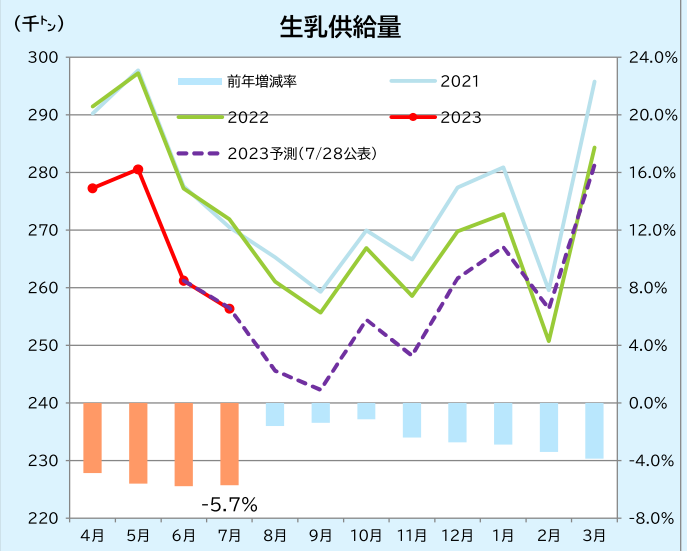
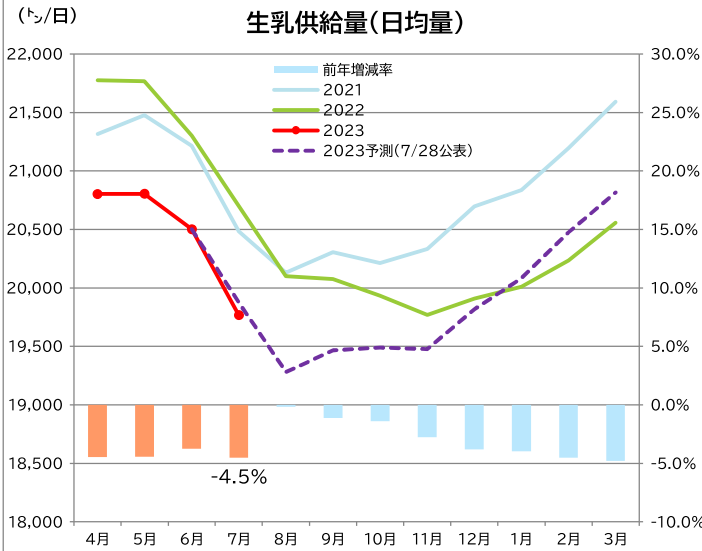


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)7月の生乳供給量は612.7千トン(前年同月比95.5%)、飲用等向338.9千トン(同96.7%)、乳製品向(認定ベース)273.9千トン(同94.1%)。
 (2)飲用等向、生乳供給量ともに前年を下回ったが、生乳供給量の減少量の方が大きく、乳製品向は前年を大きく下回った。
 (3)予測値との比較では、飲用等向(予測値:340.5千トン)が下振れしたものの、生乳供給量(予測値:616.1千トン)の方が下振れ幅が大きく、結果乳製品向(予測値:275.7千トン)はやや下振れとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)7月は、生乳供給量256.3千トン(前年同月比94.3%)、牛乳等向284.3千トン(同97.2%)。
 (2)北海道からの移入量について、生乳供給量の減少が大きく51.7千トン(同107.5%)と前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:256.5千トン)、牛乳等向(予測値:284.0千トン)、北海道からの移入量(予測値:51.0千トン)すべてで横ばいとなった。

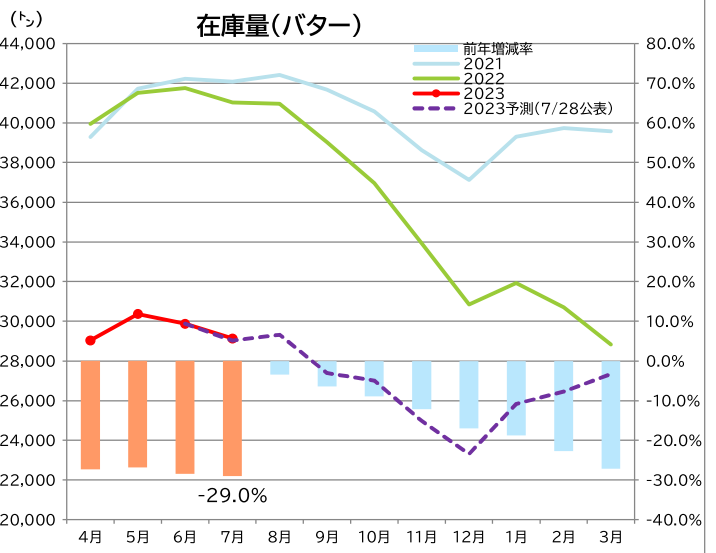
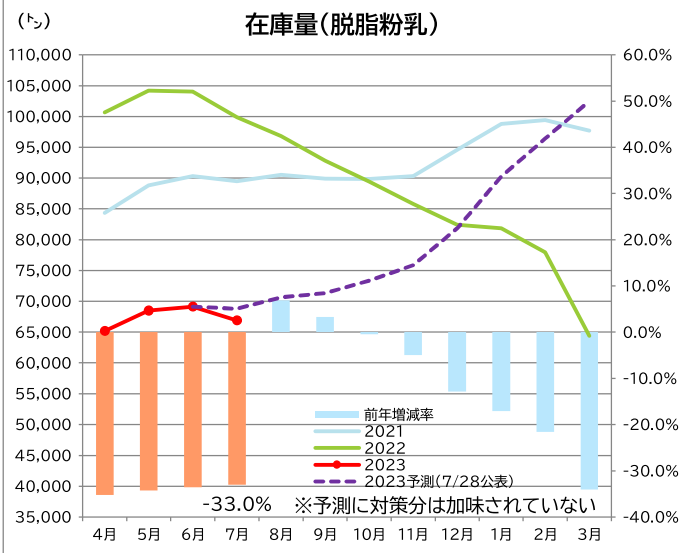
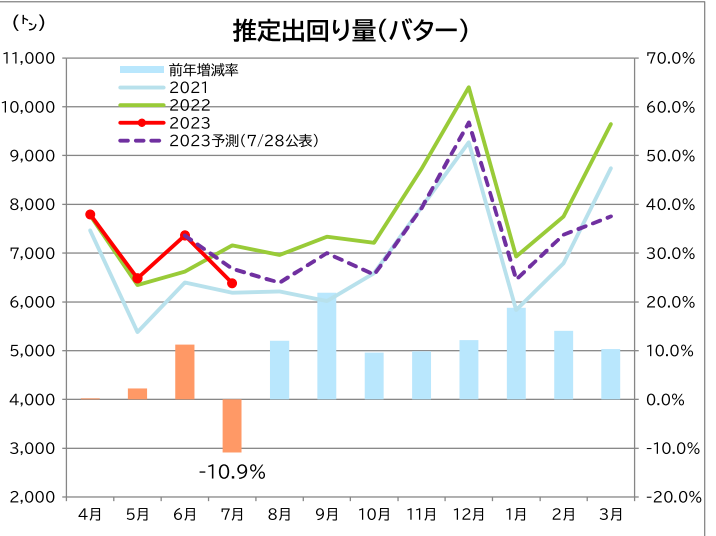
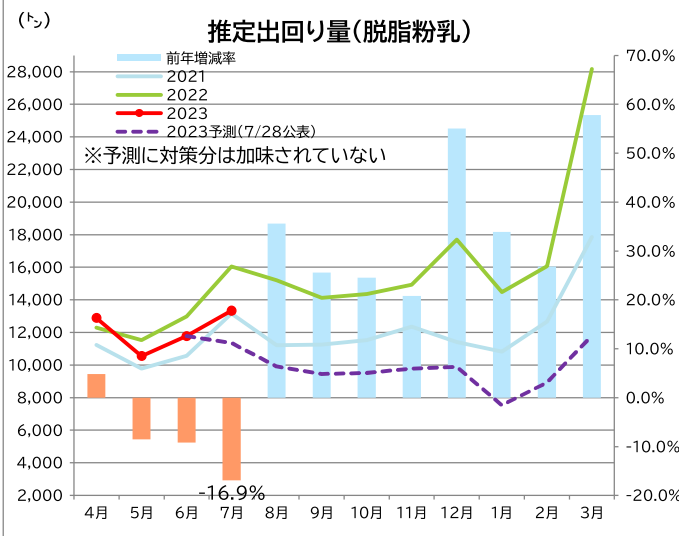
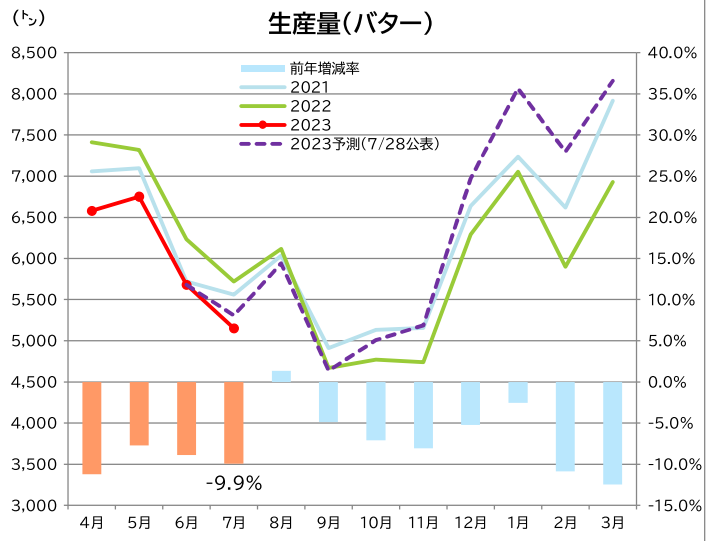
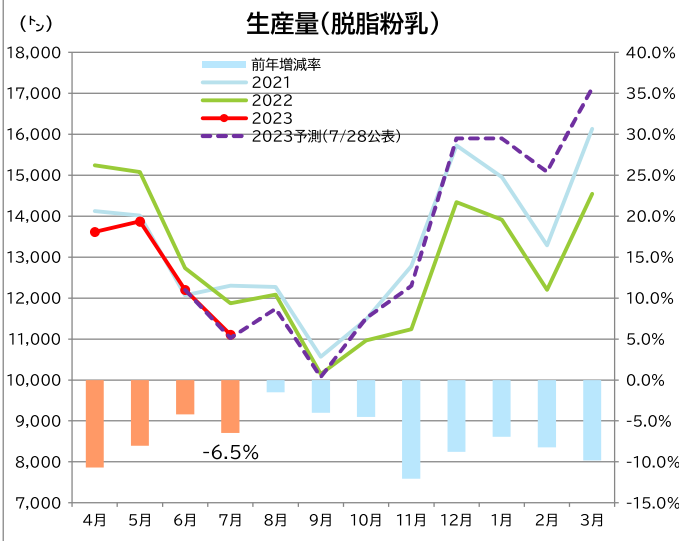


【脱脂粉乳・バターの需給】

(1)脱脂粉乳について、7月の生産量は11.1千トン(前年同月比93.5%)、推定出回り量は13.3千トン(同83.1%)となった。出回り量の方が生産量を上回ったことで、在庫は前月よりも2.2千トン程度減少し、結果在庫量は66.9千トン(同67.0%)となった。在庫量は昨年5月をピーク(104.2千トン)から在庫対策等の効果により3月には64.4千トンまで減少、その後5ヶ月連続で6万トン台を維持している。7月28日にJミルクより公表した需給見通しでは、在庫対策を講じない場合、在庫量は再び10万トンを超える高水準になると予測されている。これまで以上に理解醸成活動、牛乳乳製品の消費拡大を図り在庫量を積み増さないよう取り組むとともに、今年度も国の支援を得ながら全国の生産者・乳業者が協同して取り進める在庫削減対策による国産脱脂粉乳の国内需要拡大や輸出など、引き続き最大限かつ積極的に取り組む必要がある。

※推定出回り量には全国協調の在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。

(2)バターについて、7月の生産量は5.2千トン(同90.1%)、推定出回り量は6.4千トン(同89.1%)となった。国家貿易による輸入売渡分を考慮しても、出回り量が生産量を回っていることから、在庫量は29.千トン(同71.0%)と前月よりもやや減少した。在庫量は15ヶ月連続で前年を下回っており、引き続き消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)8月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比94.2%、成分調整牛乳:同83.7%、加工乳:同94.4%、乳飲料:同104.3%。

牛乳類では同94.8%

【参考】2021年8月比…牛乳:91.4%、成分調整牛乳:78.9%、加工乳:89.9%、乳飲料:99.1%(牛乳類トータル:91.5%)

・販売単価は、牛乳:215.3円、成分調整牛乳:208.4円、加工乳:222.1円、乳飲料:172.9円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(8/28週)の販売個数は、牛乳:前年同期比97.5%、成分調整牛乳:同81.8%、加工乳:同99.3%、乳飲料:同108.1%。

牛乳類トータルでは同97.8%

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

単位:千個、円

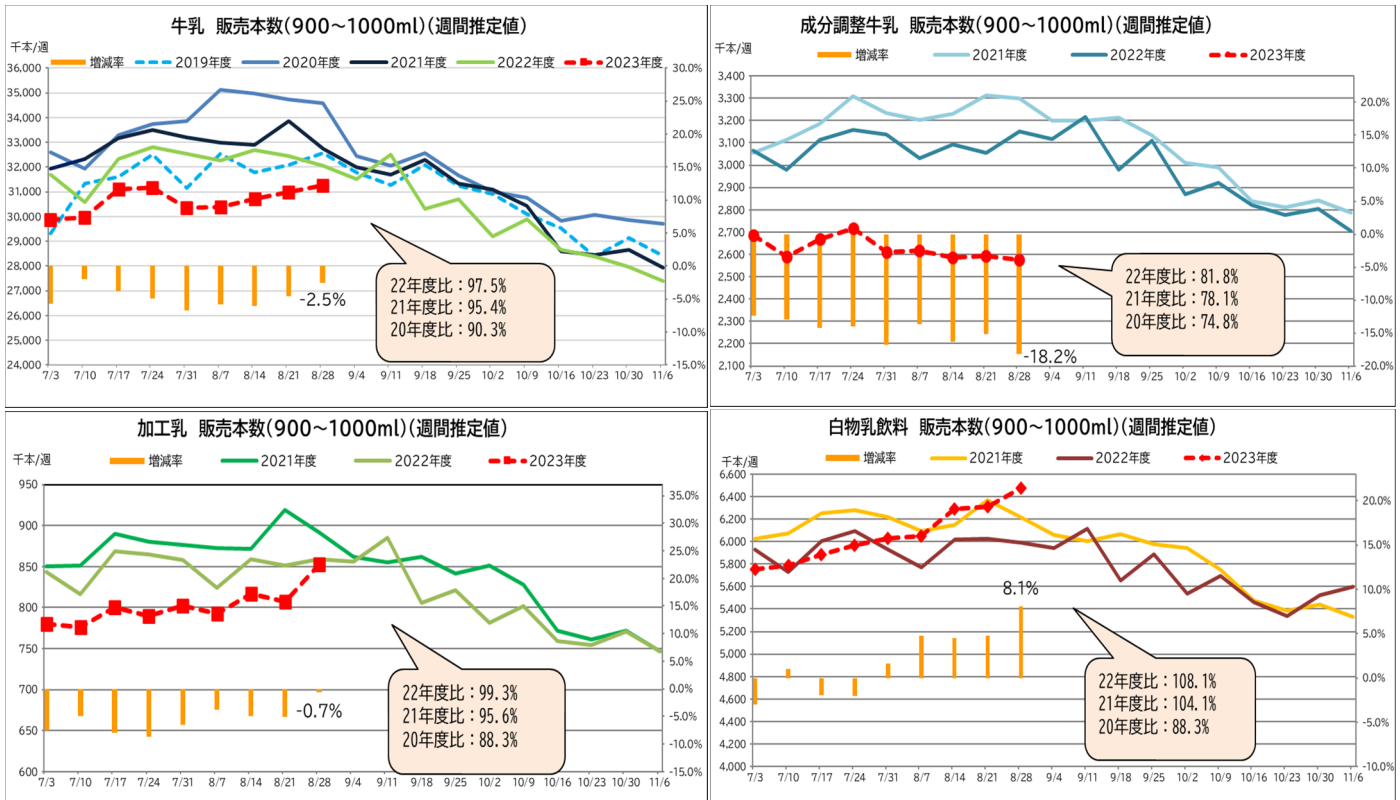
品目	区分	2023/3-	2023/4-	2023/5-	2023/6-	2023/7-	2023/8-	2023/8- 2022/10価格差	2023/8- 2023/3価格差	2023/8- 2023/4価格差
		販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比	販売単価			
トータル	販売個数	157,260	157,169	164,698	162,636	177,890	177,410	32.2	17.0	15.3
	販売個数前年比	95.8	96.0	95.7	95.7	95.5	94.8			
	販売単価	198.3	199.6	199.9	199.9	200.0	215.3			
牛乳	販売個数	119,417	120,068	126,050	124,652	136,383	135,031	34.1	17.8	17.0
	販売個数前年比	95.6	96.5	96.4	96.0	95.9	94.2			
	販売単価	206.5	207.1	207.2	207.1	207.3	224.3			
成分調整牛乳	販売個数	10,992	10,701	11,123	10,949	11,921	11,429	34.7	19.1	15.7
	販売個数前年比	87.3	84.5	84.6	84.4	86.7	83.7			
	販売単価	189.3	192.2	192.7	192.8	192.7	208.4			
加工乳	販売個数	3,253	3,206	3,233	3,187	3,507	3,558	32.0	22.2	11.3
	販売個数前年比	97.6	95.6	90.7	89.9	92.7	94.4			
	販売単価	199.9	205.8	209.7	210.5	210.8	222.1			
乳飲料	販売個数	23,597	23,195	24,291	23,848	26,079	27,393	23.2	12.6	9.1
	販売個数前年比	101.1	99.3	98.8	96.8	98.2	104.3			
	販売単価	160.3	163.1	163.9	164.1	163.8	172.9			

速報値

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	7.10-	7.17-	7.24-	7.31-	8.7-	8.14-	8.21-	8.28-	23.8.28- 22.10.24 価格差	23.8.28- 23.3.20 価格差	23.8.28- 23.7.24 価格差
		販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比			
トータル	販売個数	39,128	40,459	40,648	39,783	39,847	40,414	40,688	41,152	33.2	18.3	16.0
	販売個数前年比	97.5	95.6	94.7	93.7	95.1	94.7	96.0	97.8			
	販売単価	199.9	200.1	200.5	209.0	216.5	216.3	216.7	216.5			
牛乳	販売個数	29,973	31,105	31,174	30,344	30,389	30,718	30,976	31,251	35.5	19.2	18.0
	販売個数前年比	98.0	96.2	95.1	93.2	94.2	93.9	95.5	97.5			
	販売単価	207.3	207.3	207.8	217.2	225.5	225.6	225.9	225.8			
成分調整牛乳	販売個数	2,591	2,667	2,716	2,609	2,616	2,587	2,592	2,576	36.1	21.3	16.8
	販売個数前年比	87.0	85.7	86.0	83.2	86.3	83.6	84.9	81.8			
	販売単価	192.4	193.2	193.2	202.6	209.1	209.1	209.9	210.0			
加工乳	販売個数	776	800	790	802	793	817	807	853	29.3	18.9	8.3
	販売個数前年比	95.1	92.1	91.3	93.4	96.2	95.1	94.9	99.3			
	販売単価	210.1	210.5	211.9	217.9	223.6	221.6	224.1	220.2			
乳飲料	販売個数	5,787	5,886	5,969	6,029	6,049	6,291	6,312	6,472	23.8	14.0	9.4
	販売個数前年比	101.0	98.0	98.0	101.6	104.8	104.5	104.8	108.1			
	販売単価	163.6	163.7	164.3	169.7	173.5	173.2	173.4	173.7			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表③参照)

直近(8/28週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について、全ての品目で前週(8/21週)よりも増加した。はっ酵乳全体としては引き続き前年を下回る推移となっている。大容量タイプは8月の製品価格改定により、販売単価が上がっている。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

品目	7.10-	7.17-	7.24-	7.31-	8.7-	8.14-	8.21-	8.28-
ドリンクタイプ	👉	👉	👉	👉	👉	👇	👉	👉
個食タイプ	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉
大容量タイプ	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉	👉

- 👇 : 前年比90%未満
- 👉 : 前年比90%以上100%未満
- 👈 : 前年比100%以上105%未満
- 👆 : 前年比105%以上110%未満
- 👇 : 前年比110%以上120%未満
- 👆 : 前年比120%以上

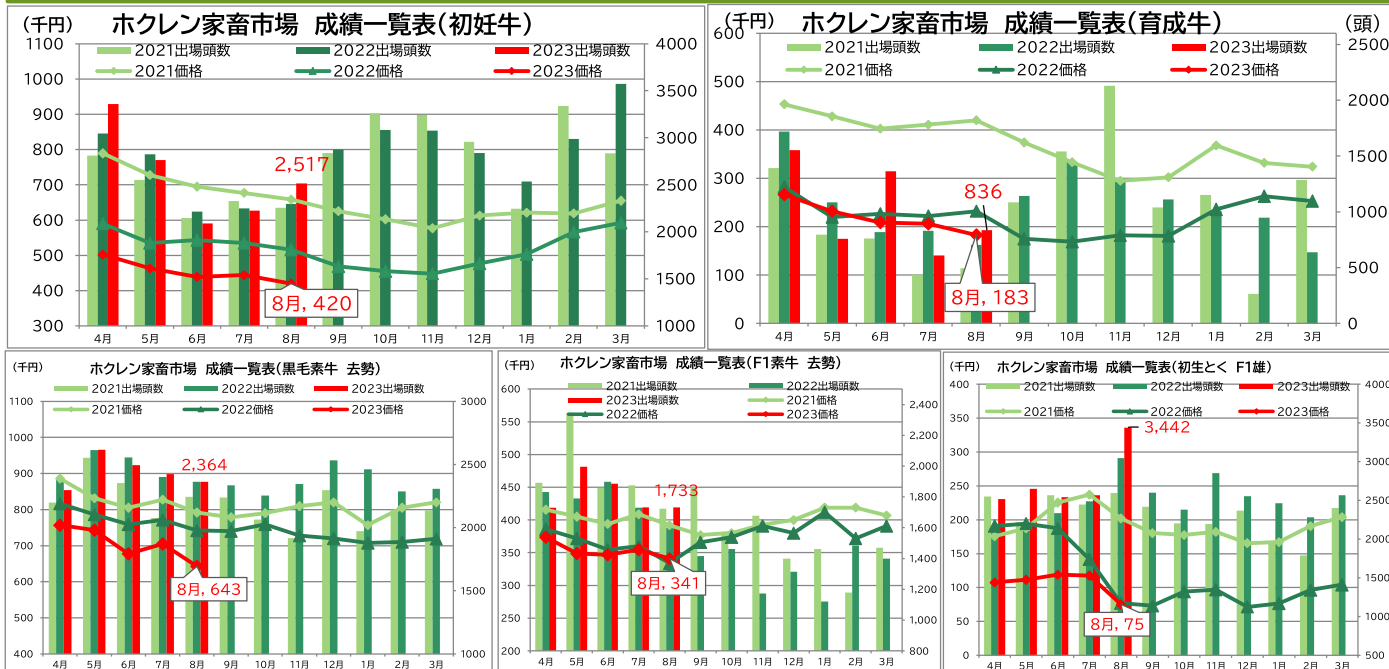
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)8月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は420千円(前年同期比81.4%)、育成牛価格は183千円(同78.9%)、和牛素牛(去勢)価格は643千円(同86.7%)、F1素牛(去勢)価格は341千円(同102.1%)、F1初生(雄)価格は75千円(同97.0%)。初妊牛は4ヶ月連続で40万円台となった。F1初生(雄)は6ヶ月振りに10万円を下回った。ホル初生(雄)価格は34千円(同141.8%)となった(グラフ無し)。

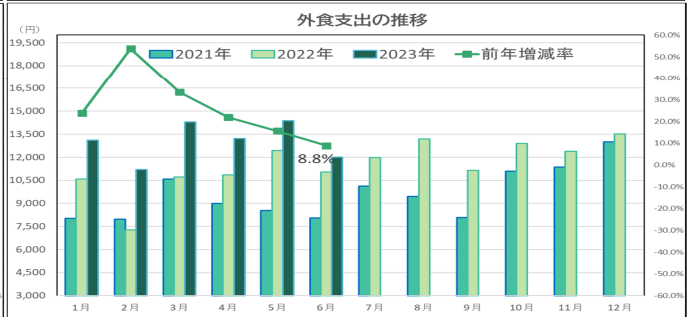
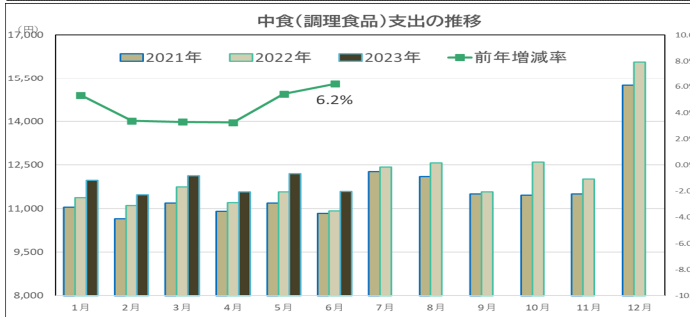
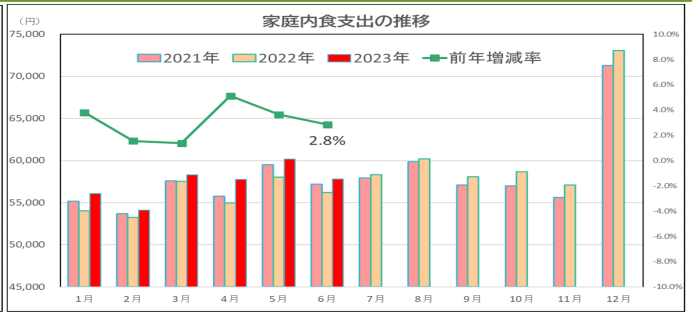
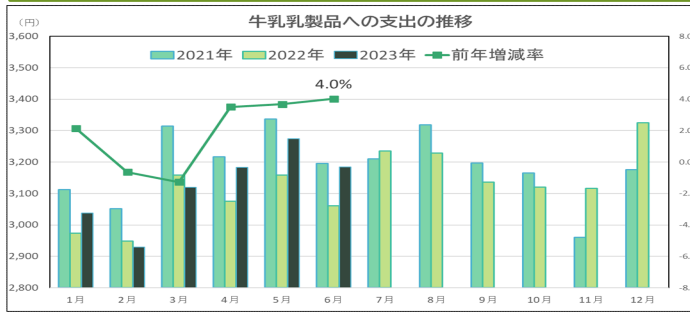
(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同109.6%、育成牛:同118.8%、和牛素牛(去勢):同100.1%、F1素牛(去勢):同108.4%、F1初生(雄):同112.9%。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

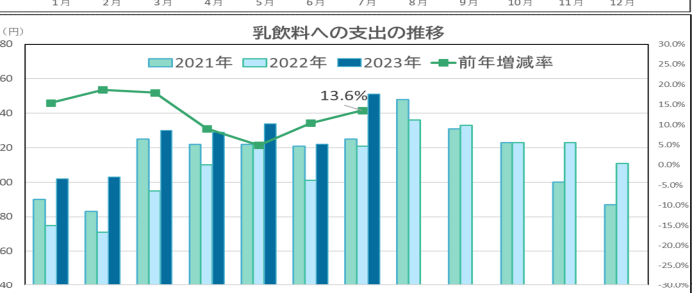
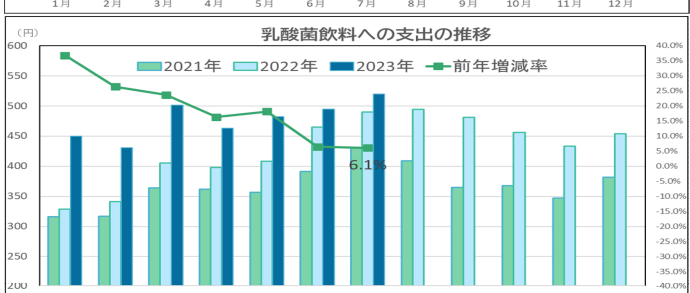
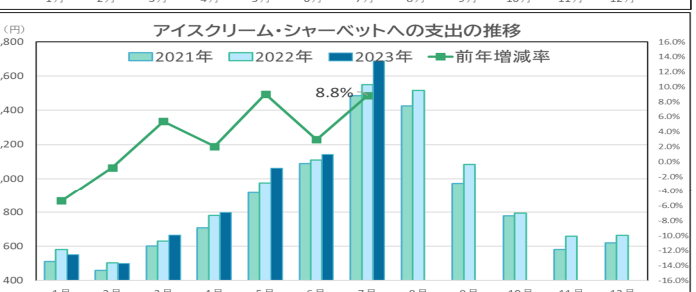
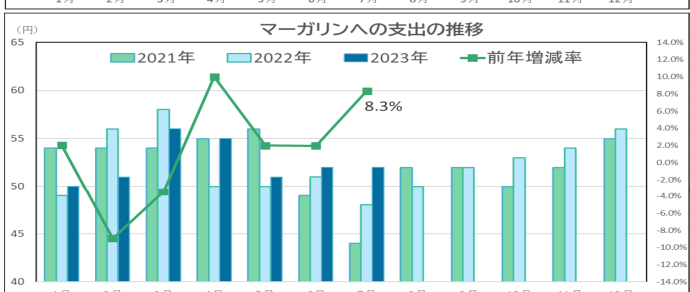
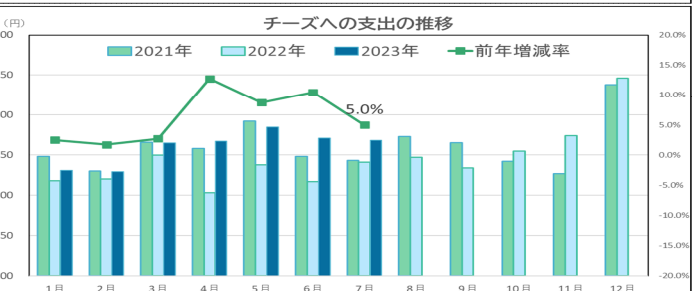
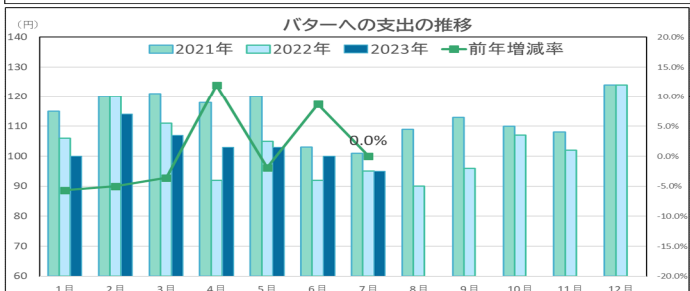
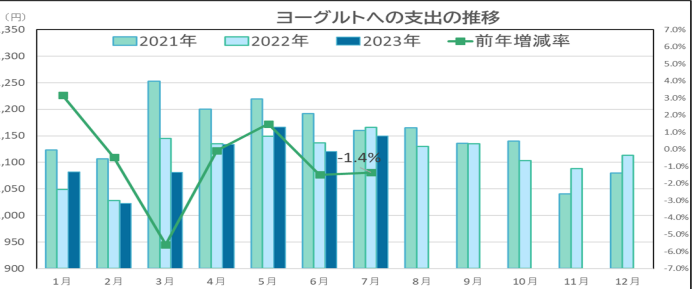
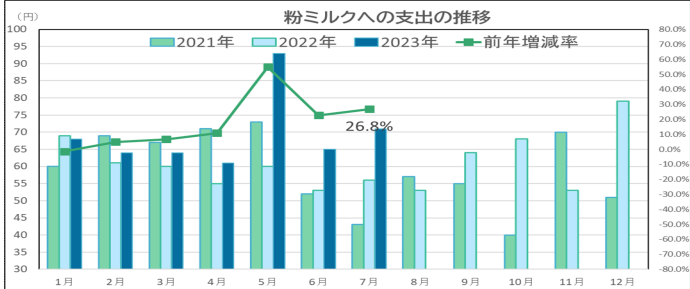


【家計支出の動向】

- (1)7月の支出額前年比について、外食115.4%、中食106.2%、内食103.7%と前年を上回り、食料全体への支出額は105.8%となった。
 - (2)牛乳乳製品の支出額についても、前年を上回った。(牛乳乳製品全体前年比:102.0%、うち牛乳102.9%、乳製品101.4%)
 - (3)なお、7月の牛乳購入量は、93.2%(1世帯当たり6.28L)と10か月振りに前年を上回った前月から再び減少に転じた。(※下記グラフに掲載無し)
- ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



【参考:その他品目支出の動向】



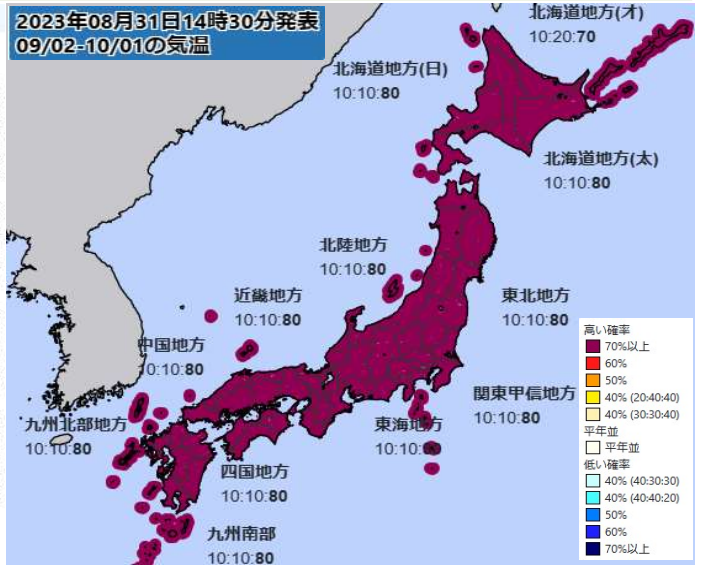
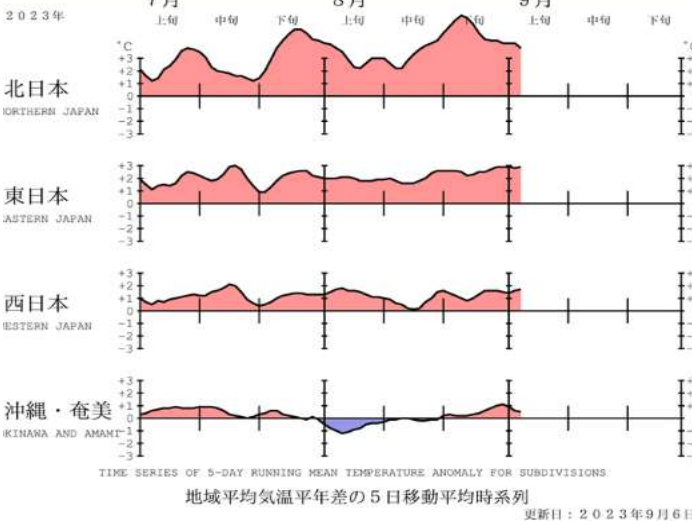
【気象庁HPより全国1ヶ月予報(9/2-10/01)抜粋】※8/31気象庁公表

北・東日本では、天気は数日の周期で変わります。西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。西日本太平洋側と沖縄・奄美では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は、平均気温は、北・東・西日本で高い確率80%、沖縄・奄美で高い確率70%です。

※出典:気象庁

前3か月間の気温経過



【乳製品輸出価格の動向】

(1)直近の乳製品国際相場について(8月下旬)

・欧州:脱脂粉乳2,450ドル/ト、バター4,900ドル/ト中心

・オセアニア:脱脂粉乳2,400ドル/ト、バター4,600ドル/ト、チエダーチーズは4,200ドル/ト中心

※出典:米国農務省(USDA)

